

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【公開番号】特開2009-269208(P2009-269208A)
【公開日】平成21年11月19日(2009.11.19)
【年通号数】公開・登録公報2009-046
【出願番号】特願2008-119194(P2008-119194)
【国際特許分類】

B 4 1 J 2/18 (2006.01)

B 4 1 J 2/185 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月29日(2011.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

廃液を排出する排出部を備えた液体噴射装置に着脱可能とされ、該液体噴射装置に対する装着状態において、前記廃液を受容可能な廃液回収体であって、

前記廃液を吸収可能な廃液吸収材と、

該廃液吸収材を内部空間に収容する容器部材とを備え、

該容器部材は、前記容器部材の内壁面から離間した位置に設けられている移動規制部を備え、

前記廃液吸収材は、前記移動規制部に係止される孔部を有することを特徴とする廃液回収体。

【請求項 2】

前記移動規制部材は、前記容器部材の内底面の中央部に立設されていることを特徴とする請求項 1 に記載の廃液回収体。

【請求項 3】

前記移動規制部材は、円柱状の柱であり、

前記孔部は円形の孔であることを特徴とする請求項 2 に記載の廃液回収体。

【請求項 4】

前記移動規制部材は、前記廃液吸収材の上面よりも上方に位置する上端面を有し、該上端面から前記移動規制部材内の大気連通孔を介して大気と連通することを特徴とする請求項 3 に記載の廃液回収体。

【請求項 5】

前記移動規制部材の下部に前記容器部材の側壁の外方へと連通する抜け溝を有し、

前記大気連通孔は前記抜け溝と連通することを特徴とする請求項 4 に記載の廃液回収体